



子育て伴走「そげだがあ」通信 No. 7

～みんな大切 笑顔あふれる家庭と保育園に～



R 4. 1 2. 2 8 やすぎ保育園園長 福島朗博

◆ 12月の園風景から ～わくわく発表会ご参観ありがとうございました～

12月はわくわく発表会という大きな行事があり、にじ組・つき組は10日に遊戯室で、また、そら組は17日に安来節演芸館で行いました。子どもたちはみんなが生き生きと表現を楽しんでいましたね。園ではお友だちと一緒に歌ったり演じたりが楽しくて、またご家庭では聴いてもらったりほめてもらったりが嬉しくて・・・といった本番までの積み重ねがぎゅっと伝わってくるような発表でした。

また歌詞の内容が素敵だと、子どもたちも思いが入ったように、聴く側も心に染み入ってきますね。特にそら組さんが歌った『きみイロ』は、手話によるふりがついて、より表情も豊かに表現が伝わってきたのではないのでしょうか。きみにはきみのイロ(個性)があり、人それぞれ違っていいんだよ、自分らしさを見つけて生きてほしいという、深い内容の歌詞でしたね。

それから、にじ組さんとつき組さんの合同で行った発表会もかわいらしかったですね。コロナ禍以来、久々に他クラスの園児の発表も観られて、赤ちゃんだったあの頃のわが子のかわいかったこと(今も!)、歌や踊りが好きで曲が流れると体が自然と動きだす微笑ましい姿。それから3歳になったらこんなにいろんなことが表現できるようになるんだと、保護者の皆様はそれぞれ思われたことではないでしょうか。

子育ては、わが子に対して「早く大きくなってほしい」と「今のままでいてほしい」の一見相反する思いが揺れ動くように思いま

す。この両方の「思い」がとても大事で、揺れ動くからこそ、子育てに前向きに取り組めるのではないのでしょうか。運動会や今回の発表会といった園の行事では、「大きくなったなあ」とわが子の成長が感じられ、一方で「かわいい今のまんまで、それ以上大きくならんでもいいけんね」とも受け止めたい、そんな両方の思いが揺れ動いたとしたら実に味わい深いことと思います。年明けに発表会を行うほし組さんの保護者さまも、ぜひ楽しみにしててくださいね。

ちなみに、私事で恐縮ですが、「自分の子どもが生まれたり」と子育ての楽しみにしていた夢の一つが、父子でチャリ旅行をすることでした。(大学時代にチャリで北海道一周や松江～仙台縦断をした旅体験が基になっています)。4人の息子は小3になると順次、私の夢につき合われてさぞ迷惑かつ大変だったかも。ですが一泊二日の旅程で、夜は宿泊先に家族が集合して、わいわいと遊んで食べて疲れをいやし翌朝の出発を見送ってくれた、家族ならではの楽しみを共有した懐かしい思い出です。皆様も子育て中の夢も大事に、わが子と今を楽しんでくださいね。

そら組さんの発表会



「きみイロ」えだまめズ作詞

♪ ♪
イロイロ とりどりのイロ
みんながイロイロな イロもって
あんなイロ こんなイロ どんなイロ
たったひとつ きみイロ

ひとりひとは イロちがい
きみだけのイロをさがすんだ
7つよりそいあえば
きらきらのにじ
♪ ♪

004 いろ(色)



037 にじ(虹)



つき組さんの発表会



にじ組さんの発表会

三男とは出雲大社へ



わが子とともに・・・子育て・親育ち
いろいろな思い楽しんで

かわいい
今のまんま
ずっと
そのまま
いいから!

わが子と
今を
楽しんで

早く
大き
なれよ
一緒に夢を
果たそうよ

思春期を乗り越えるための子育てメッセージ

年末年始は、保護者の方もお仕事がお休みになり、家の大掃除や初詣など日常から離れて、ご家庭で家族同士が接することの多い生活になることと思います。そんな機会に、児童精神科医であった佐々木正美さんが遺していかれた『思春期に向けていちばん大切なこと』のメッセージをかみしめていただけたらと思って紹介いたします。

子どもは大好きなお父さんお母さんの喜んでくれる顔が嬉しいから、一生懸命頑張るのです。だから「嬉しいよ〜!」「助かったよ〜!」の一言が一番に伝わると思います。



そら組さんが年末に大掃除してくれました。「教室がピッカピカ! 助かったよ〜!!」

思春期の子が輝く10のメッセージ☆㊦

- 1 「わが家に生まれてきてくれてありがとう。」の気持ちを大切に
- 2 「あなたは私の生きがい。喜びだよ。」と子どもに伝えてあげよう
- 3 「がんばれ」よりも「がんばってるね」と認めてあげたほうがいい
- 4 反抗も甘えも、思う存分させてあげればよい
- 5 親の希望よりも、子どもが望むことをかなえてあげられる親になりましょう
- 6 いうことを聞かない子には「~しなさい」よりも「~してね」とお願いするほうがはるかに効果的
- 7 子どものために自分のプライドを捨てられる親になりましょう
- 8 「あなたはあなたのままでいい。」これは子どもだけでなく、お父さん、お母さんへのメッセージでもあります。
- 9 子どもは失敗して大きくなるもの。大いに失敗させ、必要なときは親が子どものかわりに詫言べばいい
- 10 子育て以上に価値ある仕事はありません。自分の子育てに自信をもって喜んで取り組んでください

引用：『抱きしめよう わが子のぜんぶ』佐々木正美著
【思春期に向けていちばん大切なこと】(大和出版)

① 生まれてきてくれたこと自体が奇跡です。まして自分たちの子としてこの世に誕生してくれたことは心からありがたく思えることでないでしょうか。

② 照れくさくても、「あなたのこと大好きだよ」と言葉にしてこそ、大事にされていることが伝わります。「わたしは愛されている。ここにいていいんだ」と子どもの自己肯定感がうんと上がります

③ ついつい「がんばれ!」と期待こめて言いたくなるけど、子どもはもうすでに頑張っているのです。だから頑張っているところを認めてほめてあげたいですね。子どもを信じて任せて待つ、です。

⑧ 「そのままのあなたが好きだよ」と、あるがままのわが子を受け止めることは、人としての子どもの存在が認められること。そこから、子どもは「自分らしく生きよう!」と主体的に輝けるのだと思います。

⑨ 朝ドラ「舞いあがれ」で、五島列島のばんばが舞ちゃんにかけ言葉はじんときます。失敗を恐れる舞ちゃんへの言葉。「失敗ばすつとは悪かことじゃなか。」「できんことは、次できるようになればよか。そつで、できんならできることばさがせばよかとぞ。」

⑩ 決してオーバーな表現でなく、子どもは21世紀を担う人となる、だれもが大事な存在です。そのことで乳幼児期は、人間を形成する大切な土台であり、この時期の子育てはまさにその土台づくり。親子で紡がれる乳幼児期の楽しかった思い出は、やがて訪れる思春期の嵐を乗り越える心の芯になっていきます。私たちは、今でしかできない、ゆっくりゆったりの子育てを応援していきたいと思っています。家庭と園で協同しあっていきましょう。

園長の

ことば・子育て相談会 1月14日(土)と2月25日(土)に行います
ご希望の方は平日でもお受けしますので、遠慮なくご連絡ください

園長だよりバックナンバーはこちらです⇒

